

施策評価表

平成28年度分

① 施策コード	6・2・2	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	地域の賑わいを創出する商業の活性化			○		
③ 目標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合			町内の空き店舗の活用や商店街での買い物等の利便性を向上させ、良好で持続的な商業地域の振興を図ります。また、地域の特性を活かした魅力的な商業環境の整備に努めます。		
④ 現状と課題	◆ 国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。 ◆ 町中心部の商店街では、町内の若手事業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。 ◆ 日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が一丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。 ◆ 日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行う必要があります。 ◆ 本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、「東北放射光施設」※の誘致を推進するとともに、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。					
⑤ 施策の内容						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
中心市街地活性化拠点施設利用者数	人	80,000	113,237	117,003	90,000	90,000	90,000		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	5,200	5,119	3,700	3,700	3,700

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	・空き店舗、空き家等活用事業(補助金)において、空き店舗活用事業で3件の補助を行い、一定の雇用の確保と定住を促進した。 ・中心市街地活性化事業について、市街地商店街等と連携・協力し集客に努め、目標の90,000人を達成した。	
⑨ 施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要

今後の取組

⑩ 今後の取組	中心市街地全体の商圈で活性化を図るため、空き店舗活用事業の支援や市街地の景観を整備し魅力を高める。また、商工会と協働し中心市街地の商店街を横断的に回遊する事業を検討し、商店街以外の個店や団体等にもイベントへの出店を依頼するなど更なる賑わいの創出を目指す。
---------	---

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】